

# 2000誌 に せ ん し

「あーさー」



青年部会長 吉満 祐市  
部長として勤めたこの一年間は

部会員の皆様の支えがあったからこそ、この文章を書きながら一つ一つの出来事を思い出しております。特に創立10周年事業では本会役員の皆様のご出席もいただきながら、建築関連分野の青年部会代表の方々にもご出席いただき、業界の将来について熱く語れたことが強く印象に残っております。又、熊本県・宮崎県の建築青年部会との懇談会では、直面する業界不振の現状に触れ、我々は「負けず組」として残っていかう」との思いが確認できた研修でもありました。又、各委員会では、それぞれの委員長のカラーを出していただき、すべてにおいて無事進行終了することが出来たことは、何より部会員の皆様のおかげだと大

第20号  
発行(社)鹿児島県建築協会 青年部会  
鹿児島市城山町2-13  
TEL(099)224-5220

変ありがたく思っております。しかしながら、業界の不振はまだまだ長引きそうです。二極化

や地方切捨て等に拍車がかかる勢いです。当青年部会では協会会員のためになることは公共工事の事や民間工事の事に係らずに創意・実施しなければなりません。多くのトライを続けて、青年部会の存在意義を示さなければならぬと考えております。

昨日の1月24日に開催された当青年部会の臨時総会で、部会員の皆さんより「もう一期やりなさい」とのお達しがありました。私自身、悩みましたが皆さんのお役に立てるのは今しかないと感じ、お受けすることにいたしました。自信があるわけではないですが多くの皆さんが、何かをしないといけない」と考えている事をお聞きするにつれ、早急に動くことが必要だとも思っています。変化や多様化に対応するための努力をしなければ、残れないことを頭に入れ、さらなる二年間で試行錯誤を続けたいと考えております。

## 総務委員会



総務委員長 南 洋和

この2年間総務委員長を勤めさせていただき、ありがとうございました。

当初は、自分に出来るか不安でしたが、理事の方々ははじめ、委員会のメンバー、会員の皆様のご協力とご指導で無事に事業を終えることが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。

1月24日に行った任期最後の重大事業の親睦ボウリング大会、臨時総会&懇親会も、楽しく無事に終えることが出来ました。有難うございました。

この2年で行ってきた事業は、HP、イントラのアクセス率アップを総務委員会では、会員手帳の更新するにあたり、記載内容の最新版を呼びかけてアクセスのきっかけを作りました。メイン事業18、19年度定時総会・懇

親会も無事開催できましたし、協会だよりも執筆いただいた方々のご協力により寄稿できました。

また2000誌においては、マンネリ化防止対策として自由題材で各副委員長の方々に執筆頂きまして楽しんでいただける内容に仕上がりました。

任期中にはこれら基本事業のほか、青年部会創立10周年記念式典、懇親会の運営、それと熊本・宮崎・鹿児島三県合同懇談会の運営の特別事業があり、無事開催できました。10周年記念式典懇親会では、思い出話や業界のことなどで盛り上がり、ありがとうございましたし、三県合同懇談会では各県の皆さんの建設業に対する考え、思い等、また、宮崎の地元の人でも入手困難な幻の焼酎も飲みました。30分で空いちゃっていましたが、いい懇親の場を作れてよかったと思えました。

任期最後の事業として今書いている2000誌の原稿寄稿で終わります。

皆さん、スンからスンまでしっかりと読んでくさい！

バックナンバーは協会ホームページ



平成19年9月28日  
三県合同懇談会



平成19年4月27日  
定時総会

ジにありますのでどしどしアクセス  
してください！  
最後に2年間当委員会事業にご協  
力いただきまして有難うございま  
した。



平成20年1月24日  
ボウリング・臨時総会・懇親会

平成19年度は、鹿児島市にオープ  
ンする大規模スーパー、イオンの現場  
見学会を実施。経営者講習会では、「工  
事成績評定のポイントの理解と工事

た講演会を開催しました。  
平成18年度は、青年部10周年に  
あたり、九州電力株式会社との協力を得  
て「玄海原子力発電所」を見学。経営  
者講習会には、弁護士を講師に招いて  
「建築関係トラブルあれこれ」と題し

きたのではないかと思います。  
平成18年度は、青年部10周年に  
あたり、九州電力株式会社との協力を得  
て「玄海原子力発電所」を見学。経営  
者講習会には、弁護士を講師に招いて  
「建築関係トラブルあれこれ」と題し

た講演会を開催しました。  
平成18年度は、青年部10周年に  
あたり、九州電力株式会社との協力を得  
て「玄海原子力発電所」を見学。経営  
者講習会には、弁護士を講師に招いて  
「建築関係トラブルあれこれ」と題し



会員研修委員長  
森田 達朗

平成18年度  
および平成19年度の

会員研修委員会



平成19年6月29日  
現場見学会・技術者講習会

評価、格付け等」を聴講しました。  
設計と現場がしっかりと連携してこ  
そ、安全で安心できる建築につながる  
ものと思います。「学びと実際を調和  
させる」ために行なった見学会と講習  
会が会員の技術力向上を促し、建築業  
界が、施主はもちろん、社会からも大  
きな信頼を得るために少しでも寄与  
することを願うものです。  
最後に、会員研修委員会にご協力い  
ただいた会員の方がたに衷心よりお  
礼申し上げます。



平成19年12月19日  
経営者講習会



平成19年6月29日  
現場見学会・技術者講習会

活動委員会



活動委員長  
村岡 博文

活動委員会の事業として、今年度は昨年引き続き身障者・高齢者等疑似体験を七月に行いました。またもう一つの事業は昨年度からの課題となっていました『若い人たちへ目を向けていこう』といことのでわれわれが若者へ何が出るかいろいろ模索しました。部会長、副部会長、委員会メンバーの助言をいただき最終的には青少年育成事業として小学生、中学生を『かこしま住まいと建築展』へ招待しようということを決まりました。十月二十日に県民交流センターにて実施いたしました。県下の工業高校の建築科の学生五十四名、甑島の子供八名を招待しました。とくに地方の学生にとって建築展等に参加する機会を与えることができましたことは意義が有ったと思う。青年部会員皆様のおかげで二つの事業が出来ました。二年間ありがとうございました。

た。



平成19年7月24日  
身障者・高齢者等疑似体験



IT推進室



IT推進室長  
原田 義久

IT推進室の2年間事業報告として、ましては、



平成19年10月20日  
青少年育成事業

FAXからイントラネットへの移行を行いました。前年度にイントラネット導入勉強会を会員に行い、ペーパーと会員の情報化の共有ツールとしてサイボウズを使いFAXレスになりました。一年半たちましたが閲覧率も高まり会員の方に実用的に使われています。そこで、ステップアップとして情報

の共有化を行う事に取組んでいます。イントラネットに協会メンバー以外の我々にとって特典の有る業者の参加により会員向けの広告を出してもらう事業も進んでいます。

協会ホームページを開設しましたが、なかなか更新ができなくなっています。そこで、「棟上げ情報」を掲載したいと思っています。鹿児島ではまだ棟上げが多く見られます。都心部ではこの様な事が消えかけてきている時代です。お施主様にしてみればお祝いを少しでも多くの方に情報発信していく事とホームページアクセス率アップとを考え棟上げ情報プログラム作成も進んでいます。

この2つの事業が次年度の課題となっています。

今年度の10月には三県建協会合同勉強会「宮崎・熊本・鹿児島」が鹿児島にて開催しました。この三県が我々と同じサイボウズを使い、建築協会としてのIT化の情報交換を行いました。協会IT推進顧問の桃知利男氏とIT化の最先端な活動をしています。空知建設業協会の方々を含め情報交換を行いました。

今後、会員のITスキルアップとい

イントラネットのサポートを行っています。



平成19年10月5日

三県建協会合同研修会



平成19年6月20日

IT推進会議

私も一言



総務委員会  
副委員長  
有村 幸光

耐震偽装に始まって、食の偽装、建材の偽

装 最近では、再生紙の古紙率の偽装まで・・・。やっかいな時代になったものです。

人間のからだの健康に直接影響のある食を考えたとき、何を信じて日々の買物、食生活を考えれば良いのか迷ってしまいます。では、どうするかというと、やっぱりその時々旬のもの

を食べるのが一番なのではないでしょうか。これからの季節、野菜で言えばトマト、キュウリ、ブロッコリー、ピーマンなど・・・。工務店は、こんな旬の野菜を売る八百屋さんにも似ているように思います。その八百屋さんはお客さんと話すことが一番大切な仕事”と語られています。家づくりをするということは、リフォームにしても新築にしてもとても大変なことです。「小さい工事だから・・・」と安心していてもそこから大きな問題が発生したりするケースもあります。トラブルになるととても大きな損害になったりします。何より施主様と業者が悲しい思いをしかねません。また、リフォームがブームになり悪徳リフォーム業者など未だに健在する中で正当な工務店であり続けるため、そして、お客様を守るためのこれから私たちはもっと勉強していかなければなりません。地元で経営している私たちができることは何か？を勉強することによって改めて考えさせられます。

地域のお客様に、いい家造りをする工務店だ！”と言っていただけ様に施主様との対話を大切に、注文住宅・店舗・リフォーム・・・あらゆる建物に

関するお悩みにお応えしていきたいです。そして、地域に根ざした建設会社として設計に施工に「霧島のいい家造り」を目指し弊社工務店のサポート業者と一丸となつて頑張つていきます。



委員 研修委員 会長 優一 副会長 東

去年の秋に車を乗り換えました。嫁の

車と自分の車2台を売り、VANGUARDを購入。

14年式のカルディナと17年式のスクラムワゴンを手放しました。購入時のカルディナで40%、スクラムワゴンは90%で売却出来ました。

スクラムワゴンは試乗車あがりなので元々、原価の70%ほどで購入出来ました。売却時に思いのほか高く売れたのでびっくり。

スクラムワゴンの方は、わずか1年ほどしか乗っていませんが、ほとんどただで乗ったようなものです。

車を購入するときは、ホワイト系がブラックが絶対お勧めです。購入時はいいけど売却時や乗換えとなると個性のある色は良い値がつきません。

あと、オーナーというのが高額で買い取つてもらえます。

売却時には当然、契約書を交わしますが車を受け渡す時に現金をもらう場合と後日、銀行振り込みになる場合があります。

その他にも契約内容によってはさまざまですが・・・。

後者の銀行振り込みの場合は要注意。後々に、減額交渉に入られる可能性大です。

あと、売却時にはリサイクル料金がいくらか戻ってきます。これは、売却金額とは別にもらえるお金です。

業者は、細かく説明しませんから契約書を交わす時に注意してください。

みなさん、せっかく車を売却するんだつたら少しでも高く売ってください。



活動委員 会長 久永 副会長 徹郎

私は趣味で波乗り (SURFING) によく行き

ます。特に冬の海は、天気が良ければとても気持ちがいいものです。

波が来ないときは、ボードにまたがつて海上でぼんやりくつろいでいるのですが、これが、いろんなことを考えさせてくれます。

SURFING 中なので海のことや砂浜の侵食・テトラポットの投入・自然・環境などはもちろんですが、日々の仕事のこと、家庭やいろんな活動など・・・。ついでにビーチクリーンをして帰ると自己満足も手伝って、何か結論が出るわけではありませんが、気持ちがとてもリフレッシュされます。

結論は出なくても「海と波」は、私に良い活力や新しいアイデアを与えてくれます。

皆さんも本来、自分なりのリフレッシュ法を持っているはず。あたりの前のことのように。しかし、それを自分にベストなタイミングで行うの

は、なかなか難しいんですよ。つい日々の仕事や活動に追われて、忘れてしまいがちです。自分が忘れてしまつて、切り替えができないと、お客様も社員も活力がなくなつてしまいます。その事を十分あたまに入れて、活動しようと考えています・・・が、私がそれを忘れていそうな時には、ぜひご指摘ください。

### 新入会員紹介



(株)盛洋建設 川崎 啓二 鹿児島市下荒田 会員研修委員会